【1-c】カリキュラムマップ (環境デザイン学科 2021年度カリキュラム)

芸術学部 ディプロマ・ポリシー		
人間力 自立したひとりの人間として 生きるための基礎力	知識	人間、社会、自然等に関する知識・情報を体系的に収集・理解できる
	思考力	正しい情報をもとに、物事を論理的に考えることができる
	行動力	自らを律しながら、設定した課題に粘り強く継続的に取り組むことができる
創造力 芸術の力を 社会のために活かす	倫理観	自らの良心に従い、社会のために芸術・デザインの力を活かすことができる
	発想力	豊かな感性からの着想を、概念・イメージなどにまとめることができる
	構想力	概念・イメージなどを数合わせ、テーマ・仮説として練り上げることができる
表現力	テーマ・仮説などを、様々な媒体によって可視化し提案することができる	

○ DPを達成するために特に重要
● DPを達成するために重要
△ DPを達成するために望ましい

科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	ナンバリング	開講期	知識	思考力	行動力	倫理観	発想力	構想力	表現力
環境デザイン概論	必修	1・2・3・4	講義	2	26RIN1L01	前期	○	△	△	○			
環境デザイン論初歩	必修	1・2・3・4	講義	2	26CHI1L02	前期	○	○	△	○			
建築史I	必修	1・2・3・4	講義	2	26CHI1L03	前期	○	○	△	○			
建築史II	必修	1・2・3・4	講義	2	26CHI2L04	後期	○	○	△	○			
建築一般概論I	必修	1・2・3・4	講義	2	26CHI2L05	後期	○	○	△	○			
環境デザイン特講I	選択	1	講義	2	26KOD1L06	前期	○	○	○	○			
環境デザイン特講II (2023休講)	選択	1	講義	2	26KOD1L07	前期	○	○	○	○			
環境デザイン論I	必修	2・3・4	講義	2	26SHI2L08	前期	○	○	△	○			
環境デザイン論II	必修	2・3・4	講義	2	26RIN2L09	後期	○	○	△	○			
建築史II	必修	2・3・4	講義	2	26CHI2L10	前期	○	○	△	○			
建築一般概論II	必修	2・3・4	講義	2	26CHI2L11	前期	○	○	△	○			
建築計画論	必修	2・3・4	講義	2	26CHI2L12	前期	○	○	△	○			
構造力学	必修	2・3・4	講義	2	26SHI2L13	後期	○	○	△	○			
建築材料学	必修	2・3・4	講義	2	26CHI2L14	後期	○	○	△	○			
環境工学	必修	2・3・4	講義	2	26SHI2L15	後期	○	○	△	○			
プロフェッショナル研究	選択	2	講義	2	26RIN2L16	後期	○	○	△	○			
環境デザイン論III	選択	3・4	講義	2	26HYO3L17	前期	○	○	△	△		○	
環境デザイン論IV	選択	3・4	講義	2	26CHI3L18	前期	○	○	△	○		○	
建築設備学	必修	3・4	講義	2	26CHI3L19	前期	○	○	△	○		○	
ランドスケープ計画論	選択	3・4	講義	2	26CHI3L20	前期	○	○	△	○		○	
まちづくり計画論	必修	3・4	講義	2	26RIN3L21	後期	○	○	△	○		○	
構造計画	必修	3・4	講義	2	26SHI3L22	後期	○	○	△	○		○	
建築法規	必修	3・4	講義	2	26RIN3L23	後期	○	○	△	○		○	
建築概算・施工	必修	3・4	講義	2	26CHI3L24	後期	○	○	△	○		○	
環境保全論	選択	3・4	講義	2	26RIN3L25	前期	○	○	△	○		○	
デザイン基礎I	必修	1	演習	4	26CHI1S26	前期	○	○	△	○		○	○
デザイン基礎II	選択	1	演習	4	26KOS2S27	後期	△	△	△	○	○	○	△
デザイン基礎III	必修	1	演習	4	26CHI2S28	後期	○	○	△	△	△	○	○
デザイン基礎IV	選択	1	演習	4	26HAS1S29	前期	△	○	△	△	○	○	△
CAD初歩	選択	1・2・3・4	演習	1	26HYO2S30	後期	○					○	○
環境デザインI	必修	2	演習	3	26HAS2S31	前期	△	○	△	△	○	○	△
環境デザインII	選択	2	演習	3	26HAS2S32	前期	△	○	△	△	○	○	△
環境デザインIII	必修	2	演習	3	26HAS2S33	後期	△	○	△	△	○	○	△
環境デザインIV	選択	2	演習	3	26HAS2S34	後期	△	○	△	△	○	○	△
CADI	選択	2・3・4	演習	2	26HYO2S35	前期						○	○
CADII	選択	2・3・4	演習	2	26HYO2S36	後期						○	○
環境計画I	必修	3	演習	3	26KOS3S37	前期	△	○	△	△	○	○	△
環境計画II	選択	3	演習	3	26KOS3S38	前期	△	○	△	△	○	○	△
環境計画III	必修	3	演習	3	26KOS3S39	後期	△	○	△	△	○	○	△
環境計画IV	選択	3	演習	3	26HYO3S40	後期	△	△	△	△	○	○	△
庭園演習I	選択	3・4	演習	2	26KOD3S41	前期	○	△	○	○	△	△	△
庭園演習II	選択	3・4	演習	2	26KOD3S42	後期	○	△	○	○	△	△	△
環境計画V	必修	4	演習	3	26ALL3S45	前期	○	○	○	○	○	○	○
環境計画VI	選択	4	演習	3	26ALL3S46	前期	○	○	○	○	○	○	○
卒業研究・制作	必修	4	演習	4	26ALL3S47	後期	○	○	○	○	○	○	○
キャリアインターンシップI	選択	2・3・4	演習	1							○	○	
キャリアインターンシップII	選択	2・3・4	演習	1							○	○	
キャリアインターンシップIII	選択	2・3・4	演習	2							○	○	
(教職科目)													
絵画基礎演習	選択	2	演習	2	26HYO2S49	前後期	△	△			○	○	○
彫刻基礎演習	選択	2	演習	2	26HYO2S50	前後期	△	△			○	○	○

テーマ	授業概要	到達目標
環境デザインの現在	環境デザイン学科専任教員およびゲスト講師によるリレー方式の授業。各自が自分の研究や制作をとおして環境デザインを多角的に検証する	環境デザイン領域の広さと深さを理解した上で、自らの専門領域の設定に資する。
カジュアルまちづくり論、建築設計論、インテリア設計論の初歩	学科教育の軸である「設計ルートガイドブック」を基盤とした授業。「初歩」はカジュアルまちづくり論0、建築設計論0(スタディ(エスキース)論)、インテリア設計論0[インテリアコーディネート]からなる。	講義科目(の内容や難易度)と演習科目との連動により、理論(設計論)と実践(設計)の緊密な往還を目標とする。
日本建築史	日本建築史がある種の物語であることを理解した上で、日本列島において建築・都市がどのように成立し、時代とともに如何なる空間的・機能的展開を遂げたのかを追っていく。それとともに、その背景となる各時代の社会・文化や建築技術のあり方についても考えていきたい。	自分たちの身の回りに存在する建築や都市は、どのように成立・展開してきたのだろうか。その答えを、建築・都市機構や文字・絵画史料を解説することにより見つけられるようになって欲しい。そのための基礎的な力を身につけることを目標とする。
近代建築およびインテリアデザインの思想と歴史	建築史全体における近代建築の位置づけを理解し、その特質を学ぶ。古代から現代まで、インテリアデザインの興隆の流れを概観する。	自分達が隔って立つ「近代」について、切実に見直し、その先を考えるきっかけとする。
建築をかたちづくる基本	歴史上節目とされる建築や身近に見られる建築を題材に、建築の材料と構法に対する理解を深める。	建築を構成する基本的な要素、材料、構造形式に関する基礎的な知識を習得し、設計において活用できる能力を身につける。
体験する環境デザイン	京阪神地区における環境デザインの実例および素材工場を見学する。建築・都市・ランドスケープ・インテリアが一体となった事例に焦点をあて、現代に求められる環境デザインへの理解を深める。	環境デザインの実例から、7つの領域を一体的なものとして学び、環境デザインの社会的役割と可能性について知見を得る。
京都・奈良の自然景観	歴史文化の集積する京都・奈良における自然環境要素に焦点を絞り、フィールドの中で体感することを通じて、環境デザインを考究する。	京都の豊かな自然をフィールドに、外部環境の計画に必須である植物の特徴と生育環境についての基礎知識を身につける。
集合住宅設計論、インテリア素材論、建築設計論	学科教育の軸である「設計ルートガイドブック」を基盤とした授業。「I」は2回生以上を対象とし、カジュアルまちづくり論1(→集合住宅課題に向けて)、インテリア設計	講義科目(の内容や難易度)と演習科目との連動により、理論(設計論)と実践(設計)の緊密な往還を目標とする。
京町家論、木造伝統工法論、作庭論	学科教育の軸である「設計ルートガイドブック」を基盤とした授業。「II」は2回生以上を対象とし、主に「京都」「伝統」に関わる内容とし、「京町家」「伝統工法」	講義科目(の内容や難易度)と演習科目との連動により、理論(設計論)と実践(設計)の緊密な往還を目標とする。
世界建築史	文化、環境、社会、宗教に目を向けながら、建築の歴史的、文化的価値を多面的に理解する感性を養う。	代表的な歴史的建造物を見て、時代背景、様式、およびその建設年代を把握できる力を身につける。
素材と架構と空間特性	木質構造、鉄骨コンクリート構造、鉄骨構造など各種建築構造について、構造計画を行うのに必要な基本的事項を学び、空間に適した構造素材と架構形式の知識を習得する。	それぞれの構造・構法の特徴を理解し、建築・空間デザインの中に活かすことができる能力を身につける。
建築の目的・機能と空間	ビルディングタイプごとに空間の分析・観察を行い、建築を秩序立てる方法を考える。	建築計画の可能性について考え、設計活動に有効な手法を習得する。
力学の基礎を学ぶ	造形デザインにあたって基礎となる構造力学を理解し、その知識を習得する。	造形デザインに必要な構造力学の基礎を理解する。力のつり合いをモデル化し、応力図を描ける程度の能力を身につける。
建築材料の特性を知る	建築構造体の材料であるコンクリート・鋼材・木材の材料特性(製造法・品質・強度・耐久性など)について学ぶ。	建築現場の現場で必要な、建築材料に関する専門的知見を獲得する。
快適な建築環境を学ぶ	光・熱・音・空気・水といった環境要素の基本事項を学び、これらを建物内でのどのようにコントロールすればより快適な環境となるかについて学ぶ。	建物内の光・熱・音・空気・水の諸現象への理解を深め、環境工学的視点からの発想を空間デザインや快適性の創出に活かす力を養う。
10年後の自分を話そう	「しごと」をしている人へのインタビューやプロフェッショナルによる講義を通して、自分自身のキャリアプランを再検討する。	自分自身のキャリアプランより現実化する。
ポートフォリオ論、プレゼンテーション論	学科教育の軸である「設計ルートガイドブック」を基盤とした授業。「III」は3回生以上を対象とし、進路指導もみすえ、「ポートフォリオ論」「プレゼンテーション論」で構成する。	講義科目(の内容や難易度)と演習科目との連動により、理論(設計表現論)と実践(設計表現)の緊密な往還を目標とする。
ディテール論	学科教育の軸である「設計ルートガイドブック」を基盤とした授業。「IV」は3回生以上を対象とし、「ディテール論」「ディテール論II」とし、実施設計、施工の現場に即した高度な内容を盛り込む。	講義科目(の内容や難易度)と演習科目との連動により、理論(設計論)と実践(設計)の緊密な往還を目標とする。
建築の環境制御手法	空調設備、照明設備を中心に、建築設備の概要の理解、建築設備システムの要点、基礎知識の習得に努め、建築設備が建築設計とどのように関わり位置づけられているか理解する。	建築物における設備システムの位置づけを理解し、よりよい生活空間・環境を設計・デザインするための基礎力を養う。
近代ランドスケープデザインの展開過程	近代ランドスケープ誕生から現代までのランドスケープデザインの発展過程を、作品事例から学ぶ。	これからの人間が自然に向き合う姿勢とは何かを考えられるようになる。
地域・都市の計画と環境デザイン	山や川等の自然、田園と村落、そして都市。これらは全てお互いに関連しあっている地域の差を形づくっている。そのような地域をどう理解し、計画するか? 基本的な考え方や具体例を示す。また、さまざまな環境問題や社会問題を抱える現代における、まちづくりの発想や環境デザインのあり方について解説する。	まちづくりデザインが必要とされる社会の現状を知り、その基礎的デザイン手法を理解する。
建築の構造体を探求する	実際の建築空間を事例に、構造形式(鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造、木構造など)や架構形式(組構造、アーチ構造、シェル構造など)について学習する。	基礎理論および不静定構造体の断面力算定法や前掲荷重の基礎的な考え方について習得する。
建築基準法と関連法規	建築基準法関連法規を具体的な事例を含め考察し、身近なものとしてとらえる。また、法律を通して都市の景観について考える。	建築と法令規制との関係性を学び、より優れた建築を提案するための視点を養う。
建設における概算および施工の基礎知識	概算は、設計図書からいくらかで建設できるかについて、各部の材料の数量と単価、工事に伴う労働の価格に分解して理解することを目的とする。施工は、どのように建設するかについて、施工図書や工程計画の作成と工程管理の方法、各工事の特徴を通して理解することを目的とする。	建築施工・積算に関する諸業務を理解し重点を説明できる。各種工事の概要を理解し重点を説明できる。建築施工の今後について方向性を把握し重点を説明できる。
サステナブル・ディベロップメント	環境にまつわる諸問題と対応の考え方、森林の保全、河川と流域環境の保全、公園資産の環境維持機能について学ぶ。	広範な環境問題の諸相を理解し、環境デザインの実践において必要な環境保全に関する知見を獲得する。
建築設計製図基礎1	建築図面のトレースや模型制作を通じて、図面表記のルール・記号・図法を理解し、3次元の空間と2次元の図面間の変換の過程や方法を習得する。	製図法を習得し、建築設計の基礎となる図面表現を身につける。図面における線や寸法の意味を学ぶ。また模型表現の基礎も学ぶ。
身体スケールの環境デザイン	与えられた材料を用いて、自分自身のための椅子を製作する。家具の製作に不可欠な三面図や原寸図の描き方を習得する。	スケール感を体得する。デザインのプロセスやものづくりの苦しさ・楽しさを体験する。
建築設計製図基礎2	近代の影響力の大きい建築家やデザイナーが設計した住宅や家具を自らの着眼点で研究・分析し、図面分析・模型制作を通して今後の設計制作の礎を築く。	設計図面読解・空間読解および模型制作等の表現技法を発展させるとともに、合評での効果的なプレゼンテーション技術を学ぶ。
住宅の設計	段階的に空間構成の原理や手法を試しながら、住宅を設計する。建築設計製図の基礎的技術を習得するとともに、敷地分析から計画、設計までの一連のプロセスを学ぶ。図面作成と模型制作を併用した計画手法と、第三者へのより正確な伝達表現を習得し実践する。	空間構成の原理や手法を実際の設計に活用できるようになる。住環境と人間の関係性を図面と模型にまとめ、第三者へ伝える能力を身につける。
プレゼン基礎+2D CAD	「初歩」は「プレゼン基礎(Adobe)+2次元CAD(AutoCAD)」の習得を目指す。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。パネルプレゼンテーションの基本と応用を学ぶとともに2次元CADを習得する。
小規模商業空間の設計	賑わいあるいは安らぎの場となる小規模商業施設を構想し、図面や模型に表現する技術を修得する。	周辺環境を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、そしてそれを図面や模型にまとめる能力を身につける。
住宅設計(実施レベル)	建築設計の基礎となる住宅設計を実践レベルで行う。構造(軸組)や素材もリアルに考え、細計図も描く。敷地調査から計画まで、法規や環境にも配慮し、設計の一連のプロセスとその表現法を学ぶ。	建築のモノとしての成り立ち、社会的立場などを、実施レベルの住宅設計課題にて考察し、現実的な建築設計の責任の重さやそれゆえの楽しさを感じながら、一連の設計作業プロセスを習得する。
集合住宅による居住環境の設計	外構計画や地域の環境形式にも配慮しながら、集合住宅による居住環境の設計を行う。設計者の構想を、図面と模型により的確に表現する。	居住環境についての理解を深め、場の情報を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、それを図面にまとめる能力を身につける。
都市施設の設計	高密度な都市空間に立地する都市施設を設計する。都市的文脈を調査分析し、都市生活に求められる各施設内容をプログラムした上で、独自の空間造形に挑戦する。	建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会・環境との関わりを学び、それぞれの要求を満たす内容を表現する能力を獲得する。
3Dスタディ+プレゼン	「3Dスタディ+プレゼン」:SUモデリング+レンダリング」の習得を目指す。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。3Dcadによるスタディとプレゼンに向けて、sketchupによるモデリングやレンダリングの技術を身につける。
BIM+デジタルファブリケーション	「BIM+デジタルファブリケーション」:ArchiCAD+ウルトラ実習」の習得を目指す。	基本ソフトウェアの使用法を修得すること。BIM+デジタルファブリケーションの活用に向けて、ArchiCADの習得とウルトラファクトリーでの実践的実習を行う。
都市公共施設の設計	高密度な都市空間に立地する公共施設を設計する。都市的文脈を調査分析し、都市生活に求められる各施設内容をプログラムした上で、独自の空間造形により表現する。	高密度な都市空間に立地する公共空間を設計することにより、建築計画・建築意匠上の諸問題や、建築と社会との関わりを学び、それぞれの要求を満たす提案を図面にまとめる。対象とする場の情報を読み取る能力、自らの考えを構築する能力、そしてそれを表現する能力を身につける。
領域別選択課題1	複数の領域別課題からひとつを選択し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身につける。
複合業務施設の設計	都市の将来像を想定しつつ、周辺地域の十分なりサーチにより環境や文化の文脈に配慮した都市拠点空間を提案し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した複合業務施設を、図面・模型を通して的確に表現する。各自が構想した複合業務施設に必要な空間構成力の養成。
領域別選択課題2	複数の領域別課題からひとつを選択し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身につける。
名園演習1	京都市内の庭園で造園技術の基礎を学ぶ。同時に庭園等に関する講義も行う。	名園を味わいながら、木遣りや景観を創りあげていく喜びを感じ、造園技術の基礎を身につける。
名園演習2	京都市内の庭園で造園技術の基礎を学ぶ。同時に庭園等に関する講義も行う。	名園を味わいながら、木遣りや景観を創りあげていく喜びを感じ、造園技術の基礎を身につける。
地域の中の公共・商業建築の設計	地域社会と密接に関係する公共・店舗施設を設計し、外構計画・地域の環境形式も配慮しながら、設計者の構想を、図面と模型により的確に表現する。	「地域の中の公共建築の設計」を通して、公共建築の空間設計手法と計画技法を習熟する。具体的な企画・計画の立案を通じて地域デザインの多様性を理解する。各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身につける。
領域別選択課題3	複数の領域別課題からひとつを選択し、図面・模型等により表現する。	各自が構想した内容を、図面・模型等により的確に表現する能力を身につける。
卒業研究・制作	4年間の学びを統合し、ひとつの表現として昇華させ、制作した作品を展示発表する。	学修の集大成としてふさわしい内容とクオリティの作品を、卒業制作展で展示発表する。